

みずほCustomer Desk Report 2020/04/20号 (As of 2020/04/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.95
TKY 9:00AM	107.94	1.0860	117.20	1.2485	0.6358
SYD-NY High	108.08	1.0893	117.41	1.2524	0.6384
SYD-NY Low	107.30	1.0812	116.63	1.2413	0.6315
NY 5:00 PM	107.58	1.0876	116.99	1.2505	0.6361
NY DOW	24,242.49	704.81	日本2年債	-0.140	2.00bp
NASDAQ	8,650.14	117.78	日本10年債	0.010	0.85bp
S&P	2,874.56	75.01	米国2年債	0.1999	▲0.88bp
日経平均	19,897.26	607.06	米国5年債	0.3572	0.61bp
TOPIX	1,442.54	20.30	米国10年債	0.6410	2.45bp
シカゴ日経先物	19,690.00	380.00	独10年債	-0.4755	0.15bp
ロンドンFT	5,786.96	158.53	英10年債	0.3005	0.25bp
DAX	10,625.78	324.24	豪10年債	0.8780	1.00bp
ハンセン指数	24,380.00	373.55	USDJPY 1M Vol	8.38	▲0.15%
上海総合	2,838.49	18.56	USDJPY 3M Vol	8.65	▲0.03%
NY金	1,698.80	▲ 32.90	USDJPY 6M Vol	8.65	0.03%
WTI	18.27	▲ 1.60	USDJPY 1M 25RR	-2.53	Yen Call Over
CRB指数	123.80	0.17	EURJPY 3M Vol	9.84	▲0.18%
ドルインデックス	99.78	▲ 0.24	EURJPY 6M Vol	9.98	▲0.05%

東京	東京時間は107.94レベルでオープン。午前は、昨日の米経済の再開や、新型コロナウイルスの治療薬開発等のヘッドラインを背景に、リスクオンの中で資源国通貨が買われるなど、ドル売りが優勢となりドル円は107.65まで下げた。午後は週末を控え、狭いレンジでの推移を続け、107.71レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は様子見となった。107.71レベルでオープン。昨日新型コロナウイルス感染症の治療薬の開発を巡って楽観的な観測が浮上し若干のリスクオン地合いが見られた。しかし、大きな動きとはならず107円台後半での取引に終始し107.70レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは行って来い。1.2472レベルでオープン。昨日英政府は外出制限3週間延長した。大方織込済みではあったものの外出禁止を受けた英景気への打撃は懸念され1.2413まで下落した。しかし、その後は週末を控えたポジション調整等に値を戻し1.2479レベルでニューヨークへ渡った。(00531 444 179ロンドン・トルフリー 西海)
ニューヨーク	ドル円は107.70レベルでNYオープン。朝方は米金利の低下を眺め、ドル売りが進み、107.30まで弱含む。米3月景気先行指数は過去最低水準を記録するも、市場の予想ほど悪化しておらず、ドル円の反応は限定的だった。その後、米金利が持ち直し、ダウ平均がプラス圏での底堅い推移がサポート材料となり、107.60近辺まで買い戻される。午後は107円台半ばでもみ合い。FRBによる米国債買い入れのペースが1日300億ドルから150億ドルまで減速すると伝わり、米10年債利回りが上昇するも、週末を控え積極的な取引が手控えられる中、ドル円の反応は限定的で、結局、107.58レベルでクローズ。一方、海外市場は1.08台半ばでスタートし、アジア時間序盤でリスクオンムードが強まる中、ユーロ円の上昇につれて、1.0879まで上昇。しかし、欧州時間にかけてWTI原油価格が下落するとドルが買い戻され1.0812まで反落し、1.0849レベルでNYオープン。朝方は米金利低下にサポートされ1.0893まで上昇。新規手掛かり材料が乏しく、週末を控え様子見ムードが強まる中、午後は1.08台後半で方向感の無い推移となり、結局、1.0876レベルでクローズ。

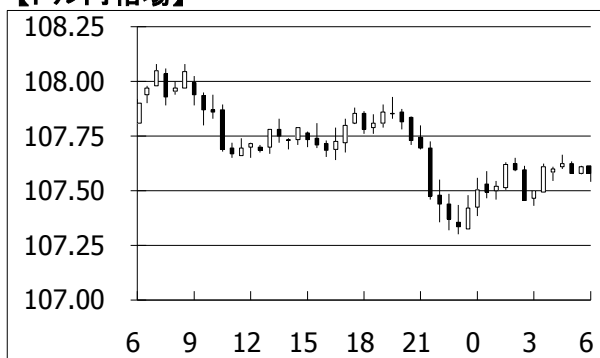
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
4月17日	11:00	中	GDP(前年比)	1Q	-6.8%	-6.0%
	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	3月	-1.1%	-6.2%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	3月	-15.8%	-10.0%
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)・確報	3月	0.5%/0.7%	0.5%/0.7%
	18:00	欧	コアCPI・確報	3月	1.0%	1.0%
	22:00	米	ブラード・セントルイス連銀総裁「新型コロナ、最悪の経済的打撃は4-6月期に」			

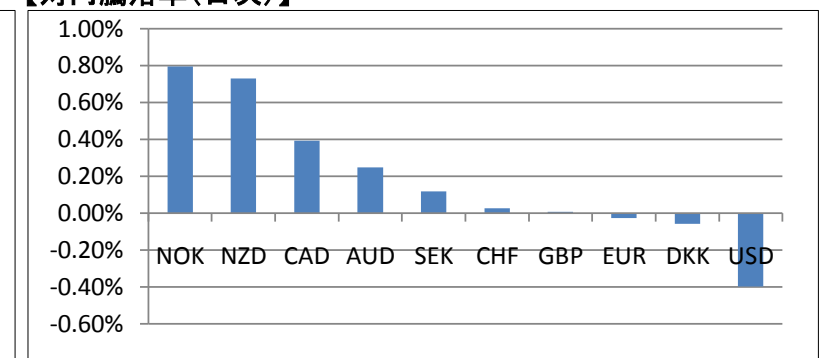
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
4月20日	8:50	日 貿易収支	3月	¥459.9b	¥1108.8b
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	3月	-0.7%/-0.8%	-0.4%/-0.1%
	17:30	英 ホールデンBOE理事 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 新たな米中対立の火種

緊急事態宣言をうけ、外出自粛が進む中、退勤途中の夜の街の静けさは異様だ。まるで地元三重県に戻ってきたのかと思うほどに人通りが少ない。行きつけの美容院も当面の間休業となり、筆者の髪の毛の長さはとどまるところを知らない。一刻も早い通常通りの生活の復活を望むばかりだ。

さて、コロナ禍において、各国中銀は協調し、米FRBを筆頭に急速かつ大胆な金融政策の変更に加え、前例のないほどの金融政策を実施した。パニック的なドル調達の動きは落ち着きを取り戻してきたように見える。しかし、外交は別問題だ。コロナ終息後もついて回るであろうヘッドラインとして、中国のコロナ初動対応を巡る、米中対立が挙げられる。米国は、新型コロナウイルス感染の被害は中国政府の隠蔽工作にあるとして賠償請求を求めべきだとしている(もちろん中国は否定している)。また、米国はWHOの対応が中国寄りであるとしてWHOへの資金拠出を当面の間停止することを表明した(もちろんWHOは否定している)。コロナ終息後も上記の話題に加え、各国の経済活動が正常に戻るまでには時間を要することから、今後1,2年の長期に見ればドル円は上値の重い状況が続くと予想する。(上地)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上地・大庭 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14